

# Paper Smart



TAJIMI  
SMART  
CLINIC



TAKE FREE

vol.  
08  
2024 JUNE



Bike in my life  
バイクと私の人生

2023年右人工股関節手術  
白井 美由紀 様インタビュー



今回は2023年に当院で手術を受けられた白井美由紀様にインタビューしました。子育て中、一旦はもう乗らないと決めたバイクを再開したきっかけや、趣味のツーリングのお話、自慢のバイクの写真もぜひご覧ください。

## Bike in my life

# バイクと私の人生

### — バイクとの出会いはいつですか？

20歳の頃にお友達がバイクの漫画を貸してくれて、普通女の子は主人公の彼女になりたいと思うかもしれませんが私は主人公になりたいと思いました。バイクレースの漫画だったのですが、レースには出られないけれど、こういうバイクに乗りたと思ってまず小型バイクの免許を取りに行きました。その後主人と結婚し、主人もバイクが好きだったので一緒にツーリングに行きたくて中型バイクの免許と自動車免許を取りました。

でも子供が生まれてお母さんになると、転んだり怪我をするのが怖くて、バイクにはもう一生乗らないと思い、子育て中は全く乗っていませんでした。

子供が巣立って落ち着いた頃、主人が『もう一度ママとバイクで景色を見に行きたい』ってLINEを送ってきたんですよ。わざわざ。笑

仕事で三重県に行った時にすごく景色が良かったみたいで、『もう無茶な運転はしません。一緒にまたいろんな景色を見に行きたいから、バイクに乗りませんか』みたいなLINEが来て。それでもう一度バイクに乗ろうと思いライダーズスクールに通ってバイクの乗り方を思い出しました。

初めは250ccのバイクに乗って主人について行っていたのですが、主人は1000ccのバイクに乗っていたので峠で全

然ついて行けなくて、(バイクを再開した)1年後には私も大型バイクの免許を取りました。

### — ツーリングではどのような場所に行くのですか？

道の駅巡りにハマっています。道の駅スタンプラリーをしていて、東海地方の道の駅は全部制覇しました。スタンプを集めるとソフトクリームが無料になったりして楽しいです。

### — バイクに乗っていて楽しいと思うのはどんな時ですか？

風を浴びる時の爽快感、開放感と、山のカーブを曲がる時のスリリングな達成感ですね。そして去年の夏三重県に行った時、道の駅でみかんの花がジャスミンのようなとてもいい香りで、その中をバイクで走るのも気持ちが良かったです。その土地に行ってそこでしか食べられないものを食べたり、景色を見たり、五感で楽しんでいます。

また、今はインカム(離れた場所でも会話ができる通信機器)があって、バイクを運転しながら主人と会話ができるので、喋りながら旅ができるのもいいですね。

## 白井 美由紀 様

Miyuki Shirai

2023年9月 右人工股関節置換術を受ける  
看護師/土台作りアドバイザー



### — 手術をしようと思ったきっかけは何ですか？

仕事はずっと立ち仕事だから痛いのもあるんだけど、バイクに乗って右のカーブを曲がる時に足が痛くて怖くて。ちょっと曲がるとバイクを支えられなくてよく立ちゴケ(立ったまま転倒すること)したり、ずっと同じ姿勢だからすごく痛かったです。

当時通っていた病院では、足の手術をしたらもうバイクに乗ってはダメだと言われていたのですが、スマートクリニックを受診した時に福田先生から『手術をしてもバイクに乗れるよ。むしろ手術をした方が楽に乗れる。』と言われて手術をしようと思いました。



白井さんの愛車 Kawasaki Ninja 650

### — 手術をして良かったことはありますか？

バイクに乗っても足が全く痛くないことですね。今まで痛かったことも忘れるくらいです。今はバイクでカーブを曲がるのも怖くないし、バイクを支える時も痛みはないです。手術をすることを当初娘は反対していたのですが、術後の様子を見て『本当に良かったね』と言っています。痛い痛いと言っていると周りも気を遣うと思うのですが、術後は人間関係も明るくなった気がします。神社巡りも好きなのですが、今までは石段を登るのも痛くてロキソニン(痛み止め)を飲みながら行っていました。今はバイクだけでなくやりたいことが何でもやれる、と自信がつかしました。

### — 手術後辛かったことはありますか？

辛かったのは手術後1日目ですね。術後の1晩が本当に痛かったです。私は足の長さが左右で1.5cm違っていたみたいで、手術後は傷口よりも筋肉に痛みがあり、もう足を切ってくださいってくらいに痛かったです。笑  
でも2日目の朝に痛み止めを飲んだら劇的に痛みが止まったので、痛かったのは1日だけでした。

### — これから手術を考えているゲストに一言お願いします

もうね、悩んでいる時間をもったいない。60歳でも、55歳でも手術をしていいの。1日でも早く受診して1日でも早く手術をしてやりたい事をやった方がいいです。私は看護師をしながら、体の基礎を作る『土台作りアドバ

イザー』をしています。『土台作り』とは、心と体の土台作り(補給・解毒・巡り)を実践することで、人生100年時代を最後まで自立し輝き続ける人を増やす、という活動です。手術後は回復が早く、体作りをしていて本当に良かったと思いました。今後もこの活動を通して皆で健康に生活していければと思います。

Instagram  
白井さん  
Instagram

土台作りアドバイザーについて詳しくはこちら！



→後日白井さんから届いたツーリングの写真

編集後記  
インタビューしたのはちょうど桜が満開の4月。ご主人とのツーリングの帰りにお話を伺いました。ちなみに、ご主人が白井さんと見たかった景色は『行ったけど、雨でした』とのこと。(ご主人談)オフレコ話も沢山伺うことができとても楽しい時間を過ごすことができました。これからもお二人でいろんな場所でいろんな景色を楽しんでください！